

香北支所管内より



首をかしげて見つめるゆずに飼い主さんもメロメロ♡



元気いっぱい!おてんば犬!

ゆずちゃん(7カ月)

昨年11月に飼い主さんのもとにやってきたポメラニアンの子犬。ユズの収穫時期に迎え入れたことからこの名前が付けられました。

ゆずはとにかく元気! 大好きなおもちゃやぬいぐるみをくわえてお家の中を毎日走り回っており、おてんばすぎて飼い主さんが少し心配になるほど。しかし、とても人懐っこい性格で撮影時も元気に飼い主さんと遊んでおり、初めて会った私ともたくさん遊んでくれました。

今ではふわふわの毛並みが特徴的なゆずですが、飼い主さんのもとにやってきた頃は毛が短かったそう。今は月に1回トリミングに行っているので「毛の変化を楽しめる」と飼い主さんが話してくれました。

最近では少しずつ外で散歩する機会も増えてきたゆず。これからも元気いっぱい! 家族みんなのアイドルです。

地区担当者より



短い期間でも自分たちにできる探究をしたい!

高知県立山田高校グローバル探究科1年

上: 清水 日南子さん(16歳)

下: 小原 海月さん(16歳)

近年の高知県の課題である少子高齢化を少しでもくい止めるために「若者に高知県で結婚式を挙げてもらうには」というテーマで探究をしている小原さんら3人のグループ。若者に結婚式への興味を持ってもらいたいという想いから、高知県の伝統工芸品である「土佐和紙」を使ったウエディングドレスの制作に取り組んでいます。

本来、1年生の探究活動は6月頃から取り組み始めますが、このグループが現在の

テーマに取り組み始めたのは夏休み前のこと。それまでは別のテーマで探究活動を進めていましたが、「このままではただの調べ学習になってしまう。もっと自分たちならのできることもあるはず!」と気づき、3人で意見を出し合い話し合っ、現在のテーマにたどり着きました。

取材時には「他のグループよりも時間がない分、アンケート調査やドレス制作についての勉強など大変なことが多くありましたが、グループ全員仲が良くお互いに意見を出しあえており「私たちならできる」いう気持ちで前向きに探究活動に取り組んでいます」と話してくれた小原さんと清水さんでした。

香美 地区から こんにちは

人のためにすることが好き!

小谷 佳育子さん(60歳)

夜須町で「中城や」という名前でお弁当を作り始めて7年目の小谷さん。やすらぎ市やマイショップミツワで販売している他、近隣農家さんなどには配達もしています。

小谷さんのお弁当の特徴は何といってもすべて中身が違うところ!! 小谷さん自身は「まかない弁当」と呼んでおり、その日ある食材の中で農家さん1人ひとりの好みに合わせたお弁当を作っています。食材の中には自家製のお米や自らが採った山菜も使用。また、「もらったものはお客さんに還元したい」という想いから、おすそ分けしてもらった食材などはすべてお弁当のおかずにも使用しています。

もともとは近所のお年寄りや家族に自分のおかずをあげていたという小谷さん。「人に何かしてあげること、自分の作ったおかずを食べてもらうことが好き」という理由でお弁当を作り始めたそう。最初は1人で調理機械や冷蔵庫などをリサイクルショップに探しに行くなど大変なことも多くありました。しかし、「自分の作ったものでお客さんが喜んでくれるから続けられる」と話します。

目指すは70歳まで続けること! これからも小谷さんは楽しみながらお弁当を作り続けていくそうです。

夜須管内より



焼き料理や揚げ物などで大活躍の調理機械!

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



多くの来場者が訪れ、各部会のPRにも繋がりました。

2月1日、2日にJA高知ビル敷地内にて「高知のやさい・くだもの・花祭り」が開催され香美地区からも各部会が出店しました。

果樹部はフルーツきんかんとうじを販売。試食も用意され生産者自身が来場者にキンカンと文旦の魅力を伝えました。

物部ゆず生産部会は青年部がつぎたてのあんこ餅を、女性倶楽部はユズの香りが引き立つ柚子うどんなどを販売し来場者の体を温めました。

会場では他にも品評会やフラワーアレンジメント教室も行われました。初日はあいにくの雨でしたが2日目には雨も上がり、会場は大いに盛り上がりました。

3 香我美・物部管内

各部会が出店 高知のやさい・くだもの・花祭り



収穫の様子。

1 香我美管内

ミカンより甘い！ 山北のフルーツきんかん

香南市で栽培されている「フルーツきんかん」の収穫が最盛期を迎えました。

香美地区温室金柑研究会では全てハウスで栽培しており、糖度は18度ほど（露地みかんは11度ほど）と高糖度であり、フルーツのように甘く、生で皮ごと食べられるのが特徴。

同地区では8人の生産者が57アールで栽培しており、今年は夏の猛暑や冬の干ばつなど天候不順が続く、例年に比べ色付きが遅く10日ほど遅れての収穫となりましたが、糖度も順調に上昇し、出荷量は例年並みの約7tを見込んでいます。

温室金柑研究会の山崎淳代表は糖度が高く食べやすいキンカンを目指し、花の時期から温度や水の管理に注意しながら栽培しています。「まだまだキンカンを生で食べるという人は少ないと思うが、ぜひ生で食べていただき、おいしさを知ってもらいたい」と話します。

フルーツきんかんの収穫は今月中旬まで続き県内の量販店などで販売されます。

5 香北支所管内

料理教室で 地元の「食」を学ぶ



女性部が生徒たちに調理を指導しました。

女性部土佐香美地区は毎年、香美市・香南市の全中学校で料理教室を行っています。

1月29日に香北支所が香北中学校1年生13人を対象に調理を指導しました。生徒たちは香美市の健康課題である高血圧に対し、煮干しからとった出汁と野菜のうま味をたっぷり引き出した「具だくさんみそ汁」や里芋とサツマイモで作る郷土料理「けんかもち」など計4品を調理。「これなら家で作れるかも」「盛り付けが難しかったけどおいしくできた！」などの声も聞かれ生徒たちは料理教室を楽しみながら学びました。

4 地区本部

参加者同士が協力 毎年恒例の「農協の森」清掃活動



協力して森の清掃に取り組みました。

香美地区青壮年部・女性部は1月15日、部員ら12人で高知市春野町にある「農協の森」の清掃活動を行いました。

この活動は県内の女性部が景観保全を目的に取り組んでおり、香美地区も毎年1月に女性部と青壮年部が行っています。

一面落ち葉で埋め尽くされた状態から部員らが約2時間真剣に清掃。「今年は落ち葉が多いね。袋がすぐいっぱいになる」「みんな、あともう少しよ」と部員同士声を掛け合いながら取り組み、森は見違えるほど綺麗になりました。



笑いヨガで体を動かし会場は笑顔に包まれました。

2 地区本部

各支部が活動を報告 土佐香美地区 女性部大会・家の光大会を開催

1月23日、JA高知県女性部土佐香美地区は野市支所2階大ホールにて「第6回JA高知県女性部土佐香美地区 女性部大会・家の光大会」を開催。女性部員やJA関係者など123人が参加しました。

大会では家の光協会の今井拓巳さんが「家活・クイズ」と題し、家の光活用術に関するクイズなどを行い、今年100周年を迎える家の光の魅力を伝えました。

その後、各支部の代表が支部活動について報告。令和6年の各支部の活動を全体で共有した他、地区全体で行われた家の光記事活用体験発表も行われました。

講演ではアマチュア落語家として「花の家こなつ」の名前で活動している大野沙耶花さんが「笑って元気！落語と笑いヨガ」と題して落語を披露した他、笑いヨガでは参加者が終始笑顔で体を動かすことができ、笑いに包まれた講演となりました。

この会で宮地テル子地区部長は「部員の減少や高齢化など課題もあるが、これからも協力の力と助け合いで暮らしを支えていけるよ、今後も部員同士で協力して活動していきたい」と話しました。

閉会後には、各支部が準備した園床しいたけ、いなげずし、青ネギの酢みそ和えのいち「飯・ちりめんじゃこ、フルーツトマト、みかん餅を参加者がお土産として持ち帰り、地元の特産品や自慢の料理を楽しみました。

えいのう〜



あなたもチャレンジ! 家庭菜園

ゴマ

暑さと乾燥に強い香味作物

アフリカ原産で、エジプト、インドでは紀元前から栽培されている古くからの栽培植物です。種には老化防止に効果のあるセサミン、現代人に不足がちな鉄や亜鉛などミネラルが豊富です。高温性なので、中間地では5、6月にまき、9月ごろに収穫します。

【品種】香りが強い黒ゴマ、マイルドな風味の白ゴマ、黄金色した脂質の多い金ゴマがあります。地域に合った在来種もあります。

【畑の準備】種まき2週間前に1平方m当たり苦土石灰200gをまいてよく耕します(図1)。1週間前に堆肥2kg、化成肥料(NPK各成分10%)・100gを土とよく混合します。幅70、80cmの栽培床(ヘッド)を作り、地温の確保と

雑草の抑制に有効なので黒マルチを張ります。マルチは株間15cmで条間40cm程度が取れる穴開きマルチを選びます(図2)。

【種まき・間引き】1穴に5、6粒まき、発芽後に子葉が重なるところを間引き、その後2回に分けて間引きを行い、最終的に本葉6、7枚で1本立ちにします。

【追肥・土寄せ】最後の間引き(株定め)後、マルチをめぐって両側に畝の長さ1m当たり化成肥料30g程度を与え、土寄せします(図3)。

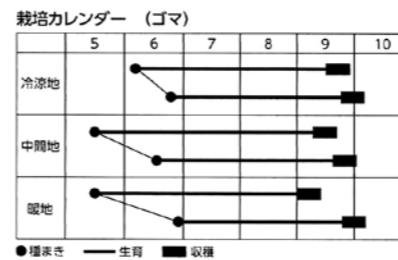
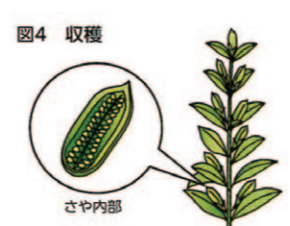
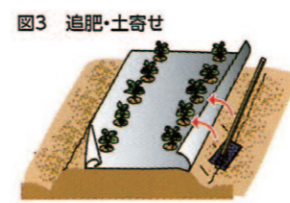
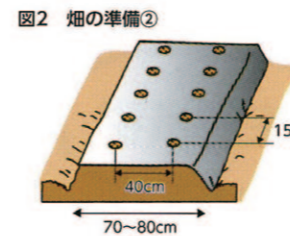
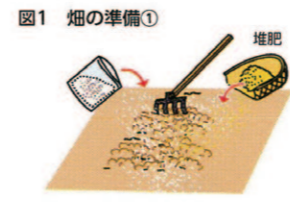
【支柱立て】草丈が高くなると倒れやすいので、支柱を立てます。畝の両側にひもを張り倒伏を防ぎます。

【病害虫の防除】さやに実が入る頃、カメムシ類

が加害すると未熟な子実が発生します。アディオン乳剤などで防除します。

【収穫】花は下から上に向かって開花し成熟しますが、下のさやが黄変し、裂け始めたら株元から切り取って収穫します(図4)。

【乾燥・調製】5、6本ずつ束ねて、穂先を上にして、雨に当たらないように7、10日間天日で十分に乾燥させます(図5)。シートを広げ、棒でたたいて種を落とし、さらに4、5日間天日乾燥させます。次に、ごみを唐箕(み)などで風選しますが、量が少ないときは紙に広げ息を吹かけてごみを飛ばします。食へるときは、片手鍋などを使い中火で10分程度手早くいります。



ユズ

春先の病害虫防除

ミカンハダニ

生態とその被害

雌成虫は体長0.4〜0.5mmで赤色をしています。3月ごろより増加を始め、5月〜梅雨明け、9〜10月に急増する場合があります。7〜8月の盛夏期は高温により増殖率はやや低下します。葉や果実が吸汁加害されると、白いカスリ状となって、外観が損なわれるとともに光合成能力も低下します。

防除方法とポイント

12月〜1月の厳冬期に防除を行わなかった場合は、アタックオイル(1000倍)を4月に散布します。ただし、100ポンド(幹腐病対策)との混用および14日以内の近接散布は薬効の低下および薬害を生じる可能性がありますので行わないでください。

そうか病

発生とその被害

葉・果実・枝にいは状の病斑が発生し、外観を著しく損ねます。病原菌は、旧葉の病斑中で越冬し、発芽期以降は雨が降るたびに伝染。新しい病斑も感染源となります。果実に5〜9月まで感染しますが、肥大が進むにつれて感染しにくくなります。

防除方法とポイント

春葉での発生を抑えるために、剪定時に発病葉枝を除去することが有効です。また、展葉初期(もつとも伸びた春芽が1cm程度)と開花始めに薬剤散布を行います。デランフロアブル(1000倍・30日・3回)が有効ですが、肌等にかぶれが起る方はフルーツセイバー(2000倍・前日・3回) マネージDF(5000倍・30日・3回) を使用してください。



ハダニに吸汁されたユズの葉



葉上に大量発生しているミカンハダニ



果実上のいは状病斑

スイカ

ハダニ類

生態と診断のポイント

スイカに寄生するハダニ類は主にナミハダニ、カンザワハダニの2種が知られています。白いカスリ症状を示す害虫としてミナミキイロアザミウマなどアザミウマ類もあるが、体型が異なるので、ルーベヤ虫眼鏡を用いて観察・区別しましょう。

高温・乾燥条件で増殖しやすく、種類によって生態は若干異なるが、ナミハダニは25℃では約10日で卵から成虫になり1雌成虫当り約100〜150個の卵を産みます。露地では梅雨時期を除く5月〜10月に多く、施設栽培では周年発生します。

被害の様子

葉裏に寄生し吸汁するため、低密度の時は葉表にカスリ状の白色の小斑点を生じ、部分的に黄化します。多発すると葉

全体が黄化し、枯れ上がります。一般的に下位葉から発生し、次第に上位葉に移っていきます。

対策防除

ほ場内・ほ場周辺の雑草が主な発生源となるので、除草に努めましょう。また、高密度になると防除が困難になるので、発生初期を見逃さないように注意し、小発生のうちに防除を徹底しましょう。

モベントフロアブル(2000倍・収穫前日まで・3回以内)、アグリメック(500〜1000倍・収穫前日まで・3回以内)等、コナジラミ類やアザミウマ類との同時防除を徹底しましょう。

ハダニ類は、特に薬剤抵抗性が発達しやすいので、同系統薬剤の連用・多用は避けましょう。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

高校生の挑戦！行動力が素晴らしいですね。ぜひ継続して挑戦してほしいです。

(香美市土佐山田町・71歳)
地域の食材を生かした食品は、どれも魅力的です。まず、最初に神池芋プッチンを食べてみたいです。

(香南市野市町・68歳)
高校生の地域資源を活用した取り組みが素晴らしい。地元食材に付加価値を付けて販売するそれぞれの魅力があり良かった。

(香美市香北町・49歳)
高校生がアイデアを出し合って地域の特産品をいかして商品化していて素晴らしいと思いました。

▼こうぐり1月号特集「地域を輝かせ 高校生の挑戦！」についてのお便りをいただきました。若者が地域のために活躍する姿を見ると、応援したくなります。取材をさせていただいた山田高校の神池芋プッチンは高校生たちのアイデアがたっぷり詰まった商品です。香美市のスーパードールなどで見かけた際はぜひ、お手に取ってみてください。また、昨年6月号から「香美地区からこんにちは」で紹介している山田高校グローバル探究課の生徒の皆さんですが今月号がラストとなりました。こちらでも若者が活動している姿を紹介させていただきます。今までの記事と一緒にご覧ください！
リハビリの散歩中、野菜のおすそ分けをいただきとても感謝しています。

(香南市赤岡町・74歳)
こうぐりは高知の新鮮おいしい農産物、そしてそれに携わる皆さんの元氣パワーがもらえる!! 私も高知の野菜等を買って応援します!

(香美市土佐山田町・56歳)
▼高知といったらやっぱり野菜がおいしい! 生産者さんひとりが丁寧に育ててくれた野菜だからこそおいしいものになると思います。私も小さい頃は野菜が苦手でしたが、今では自ら進んで野菜を食べるようになりました! 高知の野菜だからこそ成長できたと思っています。生産者の皆さん、いつもおいしい野菜を作ってくださりありがとうございます!

廃ポリ・廃プラ回収日

◆ 廃ポリ

香北・物部	とき: 4月17日 (木)	午前9時～11時
土佐山田	とき: 4月18日 (金)	午前9時～11時
野市	とき: 4月11日 (金)	午前9時～11時
夜須	とき: 4月15日 (火)	午前8時～9時30分
吉川・香我美・赤岡	とき: 4月10日 (木)	午前8時～11時

◆ 廃プラ (ビニール)

野市	とき: 4月9日 (水)	午前9時～10時
----	--------------	----------

回収場所

香北・物部は生姜予冷庫前、土佐山田は土佐山田購買課西側駐車場。野市、夜須、吉川・香我美・赤岡は旧香我美ライスセンターとなっています。

回収にあたっての注意

ビニール・ポリ以外の異物(泥土・ゴミなど)が付着すると、費用負担が多くかかり、何よりも土の微粒子等が飛散することにより近隣住民に大きな迷惑となります。回収にあたり、異物を十分に取り除いて頂きますようお願いいたします。

※問い合わせ先 香美営農経済センター 購買課 0887-56-2372

* 地区担当者のつぶやき *

いよいよ、3/31 (月) から連続テレビ小説「あんぱん」の放送がスタートします! モデルとなったやなせたかしさんが香美市香北町出身であることから放送前から香美市を中心に大いに盛り上がっていますよね!

今回は女性部香北支部の小松利子さんが作ってくださった折り紙を紹介! アンパンマンのキャラクター達をたくさん作っていただき、1月の女性部大会では展示ブースでかわいいキャラクター達がお出迎えしてくれました。

放送まであと少し! 朝ドラと一緒に香美地区をもっと盛り上げていきましょう (^v^)/ (岩崎)



【連絡先】 JA高知県香美地区 (共通局番 0887)

◆ 貯金・貸付・共済に関する問い合わせ

野市支所 (貯金・貸付) 56-0921 (共済) 56-0821
香北支所 59-2321 土佐山田支所 53-2155

◆ 購買・販売・営農に関する問い合わせ

物部購買課・集出荷場 (購買) 58-2144 (集出荷場) 58-3053
香北購買課・集出荷場 (購買) 59-3353 (集出荷場) 59-3548
土佐山田購買課 53-3101 土佐山田集出荷場 53-4124
野市購買課 56-3568
野市・吉川集出荷場 (野市) 56-0123 (吉川) 55-2117
夜須購買課・集出荷場 (購買) 54-2157 (集出荷場) 54-2231
香我美購買課・集出荷場 (購買) 55-3185 (集出荷場) 55-4118
山北果樹集出荷場 55-4165 特産センター 56-0061
香美営農経済センター 56-2372
広域ライスセンター (8・9月) 55-2223 野市育苗センター 54-3856
ライスセンター (8～10月) (香北) 59-3234 (土佐山田) 53-4149

◆ 車輛・農機・ガスに関する問い合わせ

車輛センター 56-0314 農機センター 53-4221
LPガスセンター 53-4353

◆ 事故・葬祭に関する問い合わせ

JA共済高知中央サービスセンター 088-821-6015
JA葬祭館「ルミエールとさかみ」 56-5911 (24時間対応)

◆ ATMの営業時間

●物部・香北支所・土佐山田支所・土佐山田駅前・赤岡・香我美
平日: 8:45～19:00 土・日・祝日9:00～19:00
●野市支所・マルナカ野市店・夜須
平日: 8:45～21:00 土・日・祝日9:00～19:00
香美地区本部 〒781-5295 香南市野市町西野2704-2
TEL 0887-56-0121